

“大切な花”を咲かせよう



子どもの発達支援施設
つつじが崎学園



保育所等訪問支援通信NO. R5-3

じりじりと太陽の日差しが照り付け、暑い日々が続いています。プールや夏祭り、お泊まり保育…と何かとイベントの多い時期ですね！お友達にとっても先生にとっても、笑顔のあふれる思い出がたくさんできるといいなと思います♡さて、今年度の通信は“発達障害の子どもの自己肯定感をはぐくむ”というテーマでした。今回は、“信頼関係の大切さ”“タイプ別のサポート方法”をご紹介します！



△▼子どもの自己肯定感を損なわないよう適切なサポートをする為には、 子どもの自己肯定感のベースとなる信頼関係をしっかり築いておくことが重要▼△

過干渉・不干渉ではなく、 助け舟を出しながら見守る

子どもを守ろうとするあまり、子どもの不可思議な言動の理由を考えがちになり、先回りして子どものやるべきことを肩代わりしてしまったり、事細かに指示を出したり、叱りつけたり…過干渉に陥りがちです。子どもに温かいまなざしを注ぎ、本人の頑張りを認め共感を示すこと、困った時には助けを求めていいこと、決してひとりではないことを伝えて下さい。

自己効力感をもたせて 自立に向かわせる

子どもが集団の中で生き抜くには、大人が必要な場面で助け舟を出すことも大切です。例えば初めて子どもがブランコに乗るとき、大人は子どもを背中から支え、しばらくして大丈夫だと思ったらそっと手を放します。子どもは気付いたら一人で乗っていることを知り、そのとき自分でできたという自己効力感を獲得します。こうしたプロセスを経て、自分のやることに自信を持ち自立への道を踏み出せるようになります。

大人の不安や焦りは悪影響 大人自身の自己肯定感も高める

不可解な行動に、不安や焦りやいら立ちを感じ、理由を問いたくなることも多いものです。しかし、眉をひそめ、不安気な「どうして?」「なぜ?」と問われた子どもは、それをどう受け取るでしょう?大人の否定的な気持ちや不安を感じ、何かいけないことをしてしまったのか、と不安が連鎖し、ちょっとしたことでびくびくするようになってしまいます。時には大人自身が子どもから離れて休息をとり自分を見つめ直すことも大切です。



ギャップを埋めて、 生き抜く自信をつけさせる

定型発達の世界の「当たり前」を人はわざわざ説明しません。でも、発達障害のある子たちは、定型発達とは違う認知の世界にいます。そのギャップを埋め、そこで生きていける自己肯定感をもたせるようにサポートしていきましょう。

特性、個性が強くと現れると「みんなと同じことができないダメな子」とレッテルを貼られ、辛い思いをします。認知機能や感覚の違いで起こる問題を、やみくもに直すように努力させたり、我慢させたりすると、登園渋りに繋がってしまいます。たとえ苦手な集団行動でも、逃げているだけでは定型発達の社会で生き抜くことはできません。まずは、発達障害のある子がどのように家庭や大人を見ているのかを知り、感覚を共有します。定型発達の社会での「当たり前」「暗黙の了解」をひとつひとつ分析・分解して教えていくのです。どんなに小さなことでも「ひとりでできた」と感じると、自信がわきます。小さな積み重ねが自己肯定感を高め、定型発達の社会でも特性をいかして自分らしく輝けるようになるはずですよ。



タイプ別困難克服アドバイス

●●ADHD●●

衝動的な行動が目立ち、注意散漫になり易い。行動を振り返り、マニュアル化することが大事。何度も復習が必要。

●●ASD●●

事前準備をし、何が起こるのかを予習することで、不安を取りのぞく。絵や写真など視覚的な説明の方が頭に入り易い。

●●SLD●●

それぞれの苦手に合わせた学習の手助けが必要。否定されたり、笑われたりしたことがトラウマになっていることも。安心して物事に取り組める環境も重要。

タイプ別でお伝えしましたが、必ずしも全てが当てはまるということではないので、診断名だけで“こういう人”と決めつけることのないようにしましょう。お子さんの個性や特性はそれぞれ違います。周囲の環境が違えば特性の現れ方も違います。“これが有効かもしれない…”ということを知り、どんな支援ができるのか考えていけるといいですね✨

次回は具体的なサポート方法をお伝えします😊

参考図書：『発達障害の子どもの自己肯定感をはぐくむ本』小児精神神経科医 どんぐり発達クリニック院長 宮尾益知 監修

公開保育

11月1日(水)につつじが崎学園・ハッピーランド・こすもすの公開保育が行われます。併行利用しているお子さんの当日の利用状況については各園で保護者にご確認下さい。利用日の調整については保育所等訪問支援では仲介できませんのでご了承下さい。また、併行利用しているお子さんの様子を見学したい場合は、公開保育に限らず見学をお受けできますので、ハッピーランドまでお問合せ下さい。

児童発達支援センター つつじが崎学園
地域支援事業部 保育所等訪問支援
〒400-0013

山梨県甲府市岩窪町614番地

Tel 055-251-7678

Fax 055-251-7679

Mail yoda@tutuji.or.jp

担当：吉岡かよ 武藤理紗 大柴知子 依田由佳